

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	26220401	研究期間	平成26年度～平成30年度
研究課題名	宗教テキスト遺産の探査と総合的研究 — 一人文学アーカイヴス・ネットワークの構築	研究代表者 (所属・職) <small>(平成29年3月現在)</small>	阿部 泰郎 (名古屋大学・大学院 文学研究科・教授)

【平成29年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)		
<p>本研究が基本的な目的とする宗教テキスト遺産のアーカイヴス化は、当初目標に向けて着実に進んでいる。また、資料調査研究の過程で、特に禅籍を中心に新たな知見が得られたことは、大きな成果と言える。ハーバード大学など海外の大学の研究者と連携して研究の国際発信を行っている点も評価できる。今後、作成したデジタル・データベースを活用して、いかに高度な専門的研究ができるか、さらに個々の研究者の専門分野や国を超えて、研究代表者の言う「国際・分野横断による研究を通じた人文学に普遍的なテキスト学の構築」という極めて高度な目標を達成できるか、その成果が待たれる。</p>		